

現場の安全注意喚起のバナーが新しくなります！

安全第一

日本ステージ株式会社

フォーク事故撲滅

～整理整頓！床に物が落ちてないか確認！～

日本ステージ株式会社

現場で掲示していた安全注意喚起のバナーが新しくなります。今年の事故撲滅方針である“フォーク事故撲滅”も掲げます。現場で目にした際、今一度“安全”を意識しなおすよう心掛け、よろしくお願いたします。

2月27日今年も八尾プリズムホールさん全面ご協力のもと、綱元講習会を行うことができました。新人、若手社員9名と協力会社の方達も大勢受講してくださり、山名課長指導の元、ホールの舞台を仕込むうえで必要な基本知識をしっかりと丁寧に学ぶ時間となりました。舞台前の化粧箱の説明からはじまり、床材の綺麗な敷き方(今回はパンチと地がすりを使用)、そして綱元の仕組みを教わりながら実践形式で綱を操作しました。バトンには紗幕とジョーゼット幕、文字看板を吊り込みました。幕をバトンへ仕込む時のチチひもの結び方、看板を吊るワイヤーの固定方法。



▶パンチの綺麗な敷き方を学ぶ。

▼看板をつなぐ釘の打ち方から学ぶ。

◀『地がすり』の綺麗な敷き方を学ぶ。

綱元講習会

大道具の基本を時間をかけて学ぶことで、わからないまま作業していたことが、しっかり理解できたのではないかと思います。「大道具とは？」が学べるこの講習は現場の安全を守ることはもちろんですが、次世代に大道具のおもしろさ、奥深さを知ってもらい、貴重な時間なので継続して実施してまいります！では、今回講習用の看板のデザイン、そして目貼りを担当した2人に感想を聞いてみましょう。



▽女性社員(入社1年目)

仕込み時は流れについて行くことに精一杯でなんとなくで進めてしまうことも多かった為、今回のように劇場での綺麗に仕込む為の手順やコツ、綱元の操作方法など1つつ丁寧に教わる機会はとてもいい学びになりました。今回教わった知識を自分の技術に変えられるように、ちゃんと意識して次回からの劇場の仕込みに臨みたいと思います。

▽男性社員(入社1年目)

現場ではついつい避けてきたり、理由がわからずやっつけてきたことも基礎から学ぶことで理解が深まりできることの幅を増やす良い経験になった。普段慌ただしく流れ作業になっている現場も、一つ一つ学びながら施工していくことで危険箇所であったり、気をつけないといけない事など現場で教わる事ができない事を学べる良い経験になった。

◀自分たちで仕込んだ舞台上で記念撮影。この学びをしっかり現場で活かしてください！



安全衛生向上委員会(第16回総会)

2月2日、1年に一度開催する総会を行い、東西に於ける1年間の成果を報告し合いました。内容としては、収支報告、活動報告、事故統計報告です。2025年の1年は大阪では車両事故は減ったものの、物損事故、怪我を伴う人身事故が増えてしまいました。東京は、フォークリフト、物損事故は前年度より減りましたが、人身事故が増えてしまいました。現場数の増加も著しく、現場に不慣れた作業員の方が増えています。余裕の無さからヒューマンエラーを起こしてしまうケースも多く、1年間を通し、事故はなかなか減ることはありません。しかし、現場の方々の安全意識は高まってきています。安全衛生向上委員会はこれからも『事故ゼロ』を目標に日々活動してまいりますので、皆さまの『安全作業』へのご協力、何卒宜しくお願いいたします。

